

令和 3年度予算見積調書

課室名：社会福祉課

担当名：医療保護・生活困窮者支援担当

内線：3271

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B15	学習支援促進事業費		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	学習支援促進事業費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	生活困窮者自立支援法第1条・第4条・第7条			宣言項目	06 次代を担う人財育成	SDGsゴール	1, 4, 10
					分野施策	020415 生活の安心支援	SDGsターゲット	1-2, 1-3, 4-3, 4-5,	
1 事業概要			5 事業説明						
(1) ジュニア・アスポート事業 生活困窮世帯及び生活保護世帯の小学生に対して、学習支援や生活支援などを行う。			(1) 事業内容 ア ジュニア・アスポート事業 62,598千円 町村部において生活困窮・生活保護世帯の小学生支援事業を実施する。(5教室) ・教室では学習支援、生活支援、体験活動、健康支援を実施し、教室に来られない子供には訪問支援を行う。 ・地域団体、子ども食堂等とのネットワークの構築を図る。						
(2) ジュニア・アスポート横展開事業 市が困窮世帯の小学生に対し、学習・生活支援事業を実施する場合に補助金を交付する。			イ ジュニア・アスポート横展開事業 3,750千円 新たに小学生に対する学習・生活支援事業を実施する市に、市負担分の1/2を補助する。(3市) 政令市・中核市等を除く。						
(3) ジュニア・アスポートコーディネーター事業 コーディネーターが自治体等に各種支援を行う。			ウ ジュニア・アスポートコーディネーター事業 15,860千円 コーディネーターが、自治体等に対し教室立ち上げ支援、団体との連携支援、体験事業・ボランティア等コーディネート、食材調達支援、研修、訪問支援、各種助言等を行う。(2人)						
(4) 中学生・高校生支援の充実・強化事業 生活困窮世帯等の中学生・高校生に対して、学習支援や生活支援などを切れ目なく行う。			エ 中学生・高校生支援の充実・強化事業 6,802千円 ・市に対して学習支援事業の利用率向上に向けた支援を行う。 ・学習支援員、スクールソーシャルワーカー、民生委員等との連携会議を開催する。						
2 事業主体及び負担区分			(2) 事業計画 ア、ウ、エ 委託により実施 イ 市への補助						
(1) 国1/2・(県1/2)			(3) 事業効果 ア 学習能力と非認知能力の向上。支援の手法や地域との連携体制を構築し、成果を発信。						
(2) 国1/2・(県1/4)・市1/4			イ 困窮世帯の小学生教室の市への普及						
(3) 国1/2・(県1/2)			ウ 民間の活力を活用した困窮世帯の子供支援の体制づくり						
(4) 国1/2・県1/2			エ 学習支援事業の利用率が向上し、高校中退率の引下げと大学進学率の向上が図られる。						
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (細目)生活困窮者自立支援費 (細節)生活困窮者自立支援費			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア、イ 地域の支援団体や民間企業と連携。 ウ ボランティア協力や食材支援体制の構築。民間団体、企業、社会福祉法人との連携。 エ より多くの大学生に、学習支援のボランティアとして協力を得る。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 本庁 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比	
決定額	89,010	国庫支出金					63,971	△50,112	
前年額	139,122						118,531		